

[単元を貫く問い] これまでの方法を使って大きい数も数えることができるかな。

この単元と関連した領域の付いている力(◆)と内容(・)

[第1学年]

- ◆数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考える力
- ・40までの数の構成と表し方
- ・数の大小や系列
- ・数直線の活用

本単元の目標

学びに向かう力、人間性等

数量に親しみ、算数で学んだことの良さや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。

単元終了時のめざす児童の姿

- ・2位数や簡単な3位数について数えたり読んだり、書いたりすることができる。
- ・簡単な場合について、2位数などの加法・減法ができる。
- ・数のまとまりに着目し、大きな数を日常生活で生かしたりすることができる。

知識及び技能

- ・2位数の表し方について理解することができる。
- ・簡単な場合について3位数の表し方を知ることができる。
- ・数を10の単位としてみるることができる。
- ・簡単な場合について、2位数などについても加法・減法ができることを知ることができる

思考力・判断力・表現力等

- ・数のまとまりに着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり、日常生活に生かしたりすることができる。

この単元からつながっている領域の付きたい力(◆)と内容(・)

[第2学年]

- ・3けたの数
- ・4けたの数

他教科等との関連

- ・生活科 秋見つけ
- ・体育科 なわとび

数学的活動

問題解決の過程や結果を、ブロックや図などを用いて表現する活動

日常生活の問題を具体物などを用いて解決したり結果を確かめたりする活動

身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりして数量を見い出す活動

問い 【5時間】

- 大きい数を数えるには、どんな方法で数えるといいのかな。
- 2位数の数え方、唱え方や位取りの原理と記数法を理解する。【知①】
- 2位数の数え方の理解を確実にする。【知①】
- 2位数の構成を理解する。【思①】

問い 【4時間】

- 99より大きい数を数え、その並び方のきまりを見つけよう。
- 100の唱え方、読み方、書き方を理解する。【知②】
- 数表から数の並び方の規則性をとらえ、数の規則性や構成を説明することができる。【思②】
- 100までの数の系列や大小を理解する。【知③】
- 具体物を数えることを通して120までの数の唱え方や系列を理解する。【知④】

問い 【3時間】

- 数が大きくなってもしたり、ひいたりできるかな。
- 2位数の数の構成を基にした加減計算の仕方を理解し、その計算ができる。【知⑤】
- 繰り上がりや繰り下がりのない2位数と1位数の加減計算の仕方を理解し、その計算ができる。【知⑤】
- 2位数の数の構成を基にした計算の仕方を理解し、その計算ができる。【思③】

問い 【2時間】

- 生活場面で大きい数を数えて問題を解決しよう。
- 身の回りの数に着目して、問題を作り、解決する。【主①】(本時)

働かせている児童の姿

・10のまとまりをつくと大きな数も数えることができるということを考えている姿。

・10のまとまりが10こ以上あった時に新しいくらいがあることに気づき、その数の数え方や数の大小を考えている姿。

・今までの計算の仕方を使って大きな数でも足したり引いたりすることができることに気づき、計算している姿。

・日常生活の問題を具体物や図を用いて考え、解決している姿。

評価規準

| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度                                  |
|--|---|--|
| ① 2位数の構成を理解し、数の構成を表すことができる。                                | ① 2位数を位取りに対応して10のまとまりの数と10未満の数の合成として考え、言葉やブロックなどを用いて説明している。 | ① 身の回りのあるものの数に興味を持ち、単元の学習を活用しながらその数を数えようとしている。 |
| ② 10が10こ集まると100になることを理解している。                               | ② 位の数字に着目するなどして、数表の数の並び方のきまりを考え、言葉などで説明している。                |  |
| ③ 数直線と数を対応づける活動を通して、数の系列、大小を理解し、数直線を使って数を読んだり表したりすることができる。 | ③ 数の構成に着目して、計算の仕方を考え、操作や図などを用いて説明している。                      |  |
| ④ 100より大きいかずを数えたり唱えたりすることができる。                             |   |  |
| ⑤ 大きいかずの計算の仕方を理解し、計算することができる。                              |   |  |

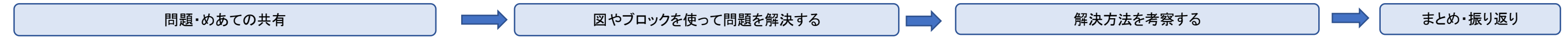
児童の実態と指導観

児童はこれまでに40までの数を数えたりする活動の中で、10をまとまりにして考えることを学習の中で行ってきている。しかし、バラバラになっているものを10のまとまりにする作業でも個人差が見られ、正確に数えることの困難さが見られる児童もいた。10がいくつとばらばらいくつと何十何という数の構成に関する学習でもブロックやタイルを使って視覚的に学習をしてきている。2学期に行った「10より大きい数」の市販テストの結果は、99点でありほぼ全員が正答を答えることができていた。しかし、プリント学習などで数直線を使った問題などでは弱さが見られる。大きな数の学習での数の並びについて確実に習熟を図る必要がある。

本単元では、これまでより大きな数(50~120)の学習を行う。ここでは、10のまとまりを意識して10がいくつあるのかとバラバラいくつあるのかを考えさせながら、既習の方法を使って課題を解決させていく。3位数も出てくるため、新しい位との出会いも大切にして指導していきたい。これまでの数の学習で本単元の基礎になっている学習をひかりタイムなどで復習をしながら単元の学習に入っていきたい。

本時では、生活科と関連して次の1年生にメダルをつくるには、折り紙がなんまいいるのかを考える場面を設定した。大きい数なので10のたばを使って考えながら、折り紙がどのくらい必要か考えられるようにした。

|  |   |   |  |   |   |
|--|---|---|--|---|---|
| <p>おりがみがあります。<br/>赤が60まい、黄色が30まいです。</p> <p>これまでの学習</p> <p>○ぜんぶで      ○ちがいは<br/> <math>60 + 30 = 90</math>   <math>60 - 30 = 30</math><br/> <math>(6 + 3 = 9)</math>    <math>(6 - 3 = 3)</math></p> <p>④ 次の1年生にメダルをつくらう。<br/>         おりがみはなんまいあるかな。</p> | <p>めあて おりがみのかずを10のたばでかぞえて、なんまいあるのかかんがえよう。</p> <p>赤60まい、きいろ30まい<br/>         30まいと30まいをつかうので<br/>         メダルは30こできる</p> <p>↓</p> <p>のこったおりがみ<br/>         赤のおりがみ30まい<br/> <math>60 - 30 = 30</math></p> | <p>次の1年生は55人</p> <p>たりない。<br/>         20こいじょうすくない。<br/>         あと25こいるよ</p> | <p>ほかのおりがみ<br/>         青20まい    みどり17まい</p> <p>青と赤でつくと<br/>         青20まい、赤20まいをつかって<br/>         20このメダルができる。</p> <p>これまでのメダルのかず<br/> <math>30 + 20 = 50</math>    50こ</p> <p>のこっているおりがみ<br/>         赤10まい    みどり17まい</p> <p>赤の5まいとみどりの5まいで<br/>         5このメダルができる</p> | <p>つかったおりがみは<br/>         あか 50と5<br/>         きいろ30まい<br/>         青20まい<br/>         みどり 5まい</p> <p>あと5こたりない</p> <p>ふりかえり</p> | <p><b>◎主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習過程の工夫</b><br/>         おりがみを10のたばで考える際、計算ブロックや絵、図、式などを組み合わせて、自分の考えを持たせるようにする。課題をつかむことが難しい児童には、グループでの活動を仕組み友だちと一緒に解決できるようにする。</p> <p><b>◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て</b><br/>         数のまとまりに着目させるために、10のまとまりで考えられるように仕組む。そのため10のまとまりがわかりやすくするために、50は10が5こ等の言葉を入れて話ができるようにする。授業の後半でばらの数も入れて問題を解決できるようにする。</p> |
|--|---|---|--|---|---|



|  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| <p>おりがみがあります。<br/>赤が60まい、黄色が30まいです。</p> <p>T 次はどんなお話になると思う。<br/>         C あわせてなんまい。<br/>         C ぜんぶでなんまい。<br/>         C ちがいはなんまい。</p> <p>T これまでの学習を使って求めてみましょう。<br/>         C あわせてなんこは <math>60 + 20</math>で70です。<br/>         C ちがいはなんこは <math>50 - 20</math>で30です。</p> <p>T このおりがみをつかって生かつのじかんに次の1年生にメダルをつくりましょう。おりがみはなんまいあるかな。</p> <p>メダルのつくりかた<br/>         ○おりがみ2まいでつくる。<br/>         ○ちがういろをつかう。</p> | <p>めあて おりがみのかずを10のたばでかぞえて、なんまいあるのかかんがえよう。</p> <p>C あかの60まいときいろの30まいで2まいずつにするからメダルは30こできるよ。<br/>         C あわせたら30このメダルがつかれます。<br/>         T つぎの1年生は55人のよていです。<br/>         T メダルはたりるかな。<br/>         C たりないよ。<br/>         C 20こいじょうたりないよ。<br/>         C たりないのは25こだよ。<br/>         T もうおりがみはのこっていないのかな。<br/>         C 赤がまだのこっている。<br/>         C なんまいかな。<br/>         C 60まいから30をとったから。<br/>         C <math>60 - 30 = 30</math>。<br/>         C 赤は30まいのこっている。<br/>         C 赤はあと30まいのこっているよ。</p> | <p>T 他に青いろとみどりがあります。<br/>         C なんまいありますか。<br/>         C かぞえてみよう。<br/>         C 青は20まい、みどりは17まいあるよ。<br/>         T メダルは作れそうかな。</p> <p>〈青から作る〉<br/>         C 青がおおいから、青と赤からつくろう。<br/>         C 赤20まいと青20まいで20できるよ。<br/>         C でもまだ5こたりないので。<br/>         C のこった赤の10まいのうち5まいとみどり5まいをつかってつくろう。</p> <p>〈みどりから作る〉<br/>         C すくないかずのみどりからつくってもいいね。<br/>         C みどりと赤のメダルがおおくなるね。<br/>         C 赤の10まいとみどりの10まいをつかって10このメダルができる。<br/>         C あと15こたりないので、あかの10まいと青の10まいで10このメダルができる。<br/>         C あと5こは赤の5まいとあかの5まいで5このメダルができる。</p> | <p>T つかうおりがみのかずをかぞえてみよう<br/>         C 10のたばごとにかぞえると100と5まいと5まいの10まい。100と10で110まい。<br/>         T きょうのふりかえりをさんすうにつきにかきましょう。<br/>         C おりがみのかずがたくさんになっても10のたばをつかってかんがえることができた。<br/>         C おりがみのかずをかんがえながら、メダルのくみあわせをかんがえることができた。</p> <p>ふりかえり<br/>         ・きょうがくしゅうしたこと<br/>         ・おおいかずをつかってこれからかんがえたいこと<br/>         ・ともだちのよかったところ</p> |
| <p>〔指導上の留意点〕<br/>         ・メダルをつくるために、折り紙の数を数えることが目的であることをつかませる。</p>   | <p>〔指導上の留意点〕<br/>         ・これまでの計算をつかって、折り紙の数を数え、メダルがいくつできるか考え、説明の仕方を考えさせる。</p>   | <p>〔指導上の留意点〕<br/>         ・メダルの数を合わせるためにあとどうしたらいいかをそれぞれで考えさせる。</p>  | <p>〔指導上の留意点〕</p>   |
| <p>・数のまとまりに着目して、折り紙の組み合わせを考え、操作や図などによって説明している。<br/> <b>【思・判・表】</b> (発表・ノート)</p>  |   |   |  |